



第2号
 2024年12月19日発行
 発行/ 豊見城市立 豊崎中学校PTCA広報部
 豊見城市字豊崎1番地1
 TEL(098)851-2361
 生徒数/364名
 (1学年:127名・2学年:111名・3学年:126名)
 教職員数/38名
 PTCA会員数/335名(P308世帯、T27名、C団体3)
 令和6年12月3日現在

「ちゅらぬーじ」ってなに〜に〜??

それは、広報誌名!決定しました!みんなの投票で選ばれました!

このたび実施した広報誌名の応募の投票に、多くのご参加いただき、ありがとうございました。

今回の投票を通じて、皆さまから集まった名前から、広報誌への思いや学校への愛情をたくさん感じることができ、どれも素晴らしいものばかりでした。その中から選ばれた新しい広報誌名は、『ちゅらぬーじ』でした。アイデアをいただいたのは、1年生「西銘航平」さんです。

この名前は、豊崎にある「美らSUNビーチ」と「にじ公園」から着想を得たそうで、美しい虹を表現しています。また、地域の象徴である「虹」を意味する沖縄の方言「ぬーじ」には、豊崎への想いが込められています。

これからも、保護者や学校、地域の魅力を皆さまにお届けしていきたいと思います。今後とも温かいご支援をよろしくお願いたします。



投票前の掲示板の様子

選ぶ勇気! 変える力! 新しいリーダーを見つけよう!

次年度生徒会選挙

10月30日(水)、本校で令和7年度生徒会役員選挙が行われました。立候補者たちは演説で、学校をより良くするための抱負を熱く語り、生徒たちは真剣な表情で聴き入っていました。

投票の結果、選ばれた新役員たちは、これから学校生活を盛り上げていくリーダーとしての活躍が期待されます。

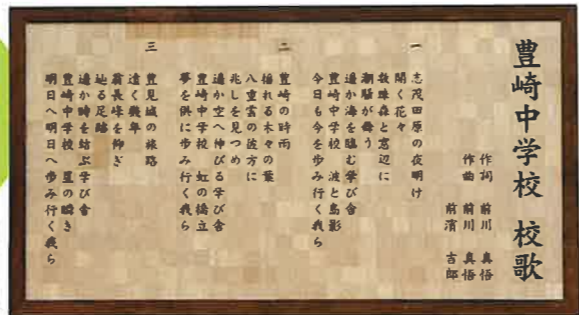


選挙への真剣な思いが伝わる一場面



一票の重みを感じながら投票しました

校歌パネル作成



力を含ませて仕上がった校歌パネル



一文字、一文字丁寧に刷りました!



徳元豊見城市長も一緒に制作しました!

10月17日(木)、校歌歌詞のパネルを体育館前方壁面に掲げる校歌パネルお披露目式が行われました。
この校歌パネル157文字、一文字一文字の裏には、3年生126人と教員の大事にした言葉や自分に向けたメッセージが綴られています。
改めて校歌の歌詞やメロディに込められたメッセージに触れる機会となり、その大切な思いを形に残し、未来への希望を託しました。



昭和制作の香村さんからプロのご指導をいただきました。

歌い継ごう私たちの絆



文字もくっきりで遠くの子にもしっかりと見えます!

☆豊崎中学校の読み聞かせ活動
絵本を一人1冊読みます。3~4名で読むので声の違いも楽しめます。
○小さい絵本も電子黒板に大きく映ります。
○絵本を読むだけでなく、気軽に参加できます。
○感染症対策にもなり、安心安全に開催できます。

☆小学校では・・・

○各教室に一人入り、2~3冊の絵本を読みます。最初は緊張します(^_^)
○小学校にある絵本を読んでも、自分で持ってきてもいいのでいろいろな本に出会えます。
○子どもたちの反応を直に感じられ楽しい時間を過ごすことができます。

9月4日(水)と10月2日(水)の学年朝会の時間を利用して朝の読み聞かせを行いました。
図書室からのリモート開催で全学年、全クラスへ配信しました。
電子黒板に大きく映る絵本を子どもたちは真剣に見ていました。
(読み聞かせ部部長/徳本水紀)



小さい絵本はズームします。手元も大きく映ります。

コミュニティ・スクールとは?

コミュニティ・スクールだより No.1

「学校運営協議会」制度を導入した学校のことで。「学校運営協議会」は保護者、地域住民などで組織され、学校運営の基本方針の承認や、運営に関して意見を述べる事ができます。地域(コミュニティ)とともに特色ある学校作りをするためにお互いに意見を述べることで学校・家庭・地域が一体になり子ども達や地域の輝く未来を作る仕組みです。
豊崎は埋立地にあるため常に地震や津波を警戒している地域です。それを踏まえ、豊崎中学校は「防災」を意識した学校運営に取り組んでいます。

委員の選出は?

「豊見城市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」(第5条)において定められた構成をもとに、地域住民を基本とし、各校区自治会長、保護者(PTCA役員)、弁護士や学識者、行政機関の職員、地域企業代表、教職員としました。

学校テーマについて

開校初年度ということで、「みんなで創る! 夢・実現する学校」をテーマに、サブタイトルを「学校・保護者・地域の連携による開校1年目の基盤作り」としました。

成果・効果・課題は?

○学校主体とならないように、地域住民、保護者代表、企業代表、学識者など、多様な視点で熟議を行いました。
○「小さな成功体験」を言葉に、焦らず、一歩ずつを意識し、共有することを大切に熟議を重ねています。
※地域でどのような子どもに成長してほしいかを考え、共有する時間が必要です。



花いっぱい大作戦

6月30日豊崎中学校にて、『花いっぱい大作戦』が開催されました! 豊見城市商工会青年部の方々の主催で、『花いっぱい』、夢いっぱい、胸いっぱい、地域に愛される豊崎中学校をみんなで作りあげよう! 温かい声かけにより、沢山の中学生、先生方、保護者の方、地域の方々も参加して下さいました。



参加者にはPTCAよりチューチューの差し入れ!

花の苗をプランターに植えました。新しい校舎も、沢山の草花に囲まれ嬉しそうです!
生徒のみなさん花いっぱい、笑顔いっぱい楽しんでください!
環境整備生活指導部部長 辻 亜希子



未来へのヒントを届ける いっこく堂講演会!

11月11日(月)、国内のみならず世界的にも活躍されている、沖縄県出身の腹話術師いっこく堂(玉城一石)さんによる講演会が開催されました。
小学時代の思い出から、腹話術師としての歩み至るまでの経験や思いを、腹話術を交えながら講演していただきました。「夢を追い続ける大切さ」、その言葉には、未来へのヒントと勇気が詰まっています。

生徒の声

いっこく堂さんの不可能があったら挑戦してみるや、人生に挫折はないという言葉がとても印象に残りました。また、いっこく堂さんが小さい時すでに、腹話術師を目指した行動力が凄いなと思いました。
3年生 玉城 侑之介





男女とも豊崎中単独チームで出場！
女子12位、男子8位！

疾走、豊崎中

島尻地区駅伝競走大会

10月26日(土)糸満市平和創造の森公園駅伝コースで行われた島尻地区中学校駅伝競走大会で豊崎中学校は男子、女子、それぞれ単独チームで出場しました。
本番当日は、前日までの雨天がカラッと晴れた晴天となり10月下旬としては、朝から気温・湿度と上昇、駅伝をするには少し厳しい状況の中、女子(全区間)が9時、男子(全区間)が10時30分にスタートしました。
選手の方々は、夏休み前から3ヶ月間に渡るきつい練習の成果を発揮し、厳しい気象条件の中で、サポートしてくれた補員メンバーも含めみんなでしっかりとタスキを繋ぎ見事完走しました。豊崎中学校の代表として堂々と走り抜き、チーム豊崎として一生懸命に取り組んできたことに敬意を表します。ありがとうございました。



男子6区 野木生太(3年)
男子5区 平田一(1年)
男子4区 石川恵多(3年)
男子3区 中谷月(2年)
男子2区 川満悠太郎(2年)



女子5区 加藤未来(1年)
女子4区 高良歩穂(2年)
女子3区 藤塚文音(1年)
女子2区 藤久村日和(2年)
女子1区 太田結華(2年)

写真提供者→保護者高良さん提供

スポレク



白熱！塩分チャージ取り競争！

障害物リレーや大縄跳び、5色綱引きなど、学年枠を超えた兄弟学級による競技も行われ、仲間との絆が一層深まる素晴らしい一日となりました。



普段の生活でも1年生や3年生と仲良くして、級長としてみんなの気持ちを理解しながらまとめられるようにしたいです。(2年1組 川満悠太郎)



綱引きでは最下位だったけど、1組でのチームワークで障害物リレーと大縄跳びで1位になれて良かったです。今回の大会を通して仲間も良くなったし、団結できたのでそれを修学旅行や合唱コンクールで生かしたいです。(2年1組 新垣愛心)

6月21日(金)に、本校体育館にて、校内スポレク大会が開催されました。全員が参加でき、誰もが楽しめるレクリエーション要素が満載の大会は、大いに盛り上がり、保護者の方々の熱い声援を送ってください、子どもたちの活躍を後押ししていただきました。

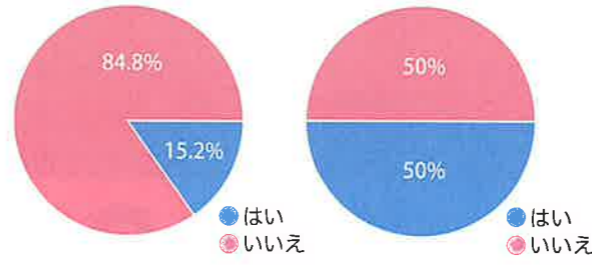


心に残ったことは、チーム皆が協力して様々な競技をしていた所です。また、何より皆で一致団結して楽しめたこと、綱引きの時に勝ったことが一番うれしかったです。(3年3組 下地伶奈)



アンケートより

Q1.豊崎に自主防災組織があることを知っていましたか？
Q3.沖縄は地震が多いことを知っていましたか？



Q2.自主防災組織がどのようなことをしているのか、学んだことを記入してください

○災害時の道具とかを準備している ○みんなの地域はみんなで守る ○災害時に支援や救助をする組織 ○防災活動・防災の声掛け ○災害が起こったときの救助活動 ○防災思想の普及や地域住民の連帯意識と防災意識を高めることをしているという事がわかった ○防災時に役立つ機材を揃えたりしている。○自然災害が起こったときに、食料を提供したり、衣食住を完備したり、自然災害について知ってもらう活動をしている。

Q7.今日の防災教室の感想を記入してください

○今まで、自分の知っていた情報とは違うことをし、防災にもっと興味を持つことができました。○災害時にどのように行動すべきか、また普段からどのような準備が必要かを学びました。特に印象に残ったのは、地震が発生した際に、まず自分の身を守る事が最も重要だということ。また、防災グッズの準備の大切さについても再認識しました。

参加者の声

親子防災教室で防災について話を聞き、防災時の基本的な知識や準備の重要性を再認識しました。特に、家族での避難計画や備蓄の必要性の理解、準備がまだまだ不十分だと感じました。具体的な対策を考えるきっかけとなり、今後の防災意識を家族で高める良い機会になりました。親子防災教室を開催していただきありがとうございました。(1年生 保護者)

親子防災教室開催

大切な命のために 私たちが出来ること

11月6日(水)に親子防災教室を開催しました。まず、豊崎自主防災会の仲本豊さんが避難所運営で必要となる釜や発電機、投光器を展示してくださりました。これらは平時、豊崎中学校に備えておくことで、定期的に訓練して使用方法を学び、災害時には自分でも抱えるのではなく、できる時にできる人が対応するということが大切とお話されていました。次に、豊見城市防災マネージャーの松田さんから地震、津波から命を守るためのお話を聞いていただきました。初めに、夢や目標に向かって一つ一つ取り組んでほしい、そのためには命を大切に、やる気の差は結果の差を意味すること、思った目標は必ず実現すると実例を交えてお話しくださいました。そして命を守るために、地震津波の仕組みの解説、それを踏まえてどのような行動をするかのイメージ、避難所の大切さ、緊急地震速報がでた際の行動や、津波は正しく恐れ、情報に合わせて柔軟な対応、災害が発生時には避難所での中学生の行動は支援する立場として対応してほしいということなどを教えていただきました。生徒からのお礼では、できる時にできることを行うこと、やる気の差は結果の差を意識することに加え、真剣に聞いてくれたことが分かるあじさつに、企画した運営部もほっと胸をなでおろし、開催してよかったと思われました。次年度の開催を今から用意しようかな。

(保健体育研修部部長 西銘司)



防災食に興味深々

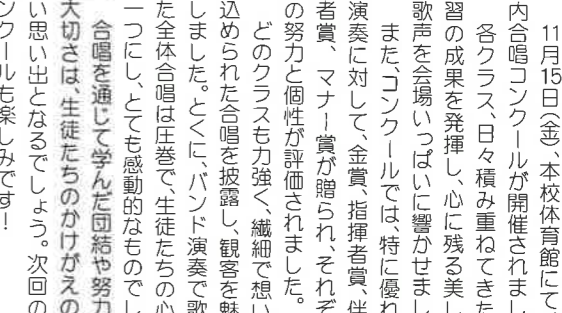


発電機と投光器の使い方の説明を受ける1年生



能登地震の避難所で行われたラジオ体操を全校で体験しました

真っ白な譜面に虹色のハーモニーを 校内合唱コンクール 始まりの歌声にのせて奏でよう



厳正かつ温かい審査をして下さった審査員の先生方です

会場を魅了したバンド演奏♪

3年生の迫力ある合唱♪

ペランダで練習に励む姿！工事のお兄さん達にも歌のお届け～♪

2年生の調和のとれた歌声♪

11月15日(金)、本校体育館にて、校内合唱コンクールが開催されました。各クラス、日々積み重ねてきた練習の成果を発揮し、心に残る美しい歌声を会場いっぱいに響かせました。また、コンクールでは、特に優れた演奏に対して、金賞、指揮者賞、伴奏者賞、マナー賞が贈られ、それぞれの努力と個性が評価されました。どのクラスも力強く、繊細で想いの込められた合唱を披露し、観客を魅了しました。とくに、バンド演奏で歌った全体合唱は、生徒たちの心を一つにし、とても感動的なものでした。合唱を通じて学んだ団結や努力の大切さは、生徒たちのかけがえのない思い出となるでしょう。次回のコンクールも楽しみます！